

- ++++
◆ サイエンスアゴラ2013におけるシンポジウムの開催について（一部訂正）
◆ 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「地球市民としてのあなたへ
～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」の開催について（ご案内）
◆ 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸
社会・自然環境の復興・再生に向けて」の開催について（ご案内）
++++

■ サイエンスアゴラ2013におけるシンポジウムの開催について（一部訂正） ■

2013/10/25（金）付日本学術会議ニュース・メールNo. 421でお知らせした、
サイエンスアゴラ2013の記事の本文中

【若手研究者たちと考える、君達の、そして日本の未来】シンポジウム開催日時が
「平成25年11月9日（土） 13：00～14：00」となっておりましたが、正しくは
「平成25年11月10日（日） 13：00～14：00」ですので、訂正いたします。

なお、ホームページにも講演や話題提供等のスケジュールを掲載しておりますので
御覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

◇問い合わせ先◇

審議第二 佐藤

電話 03-3403-1056 FAX 03-3403-1640

メールアドレス（業務用アドレス）s253@scj.go.jp

■ 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「地球市民としてのあなたへ
～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」の開催について（ご案内） ■

- ◆日 時：平成25年11月29日（金）14：00～17：00（13：30開場）
- ◆場 所：長崎大学医学部良順会館ボードインホール
（長崎市坂本1-12-4）※駐車場はありません
- ◆主 催：日本学術会議九州・沖縄地区会議、長崎大学、
長崎大学原爆後障害医療研究所
- ◆後 援：福島県、長崎県、長崎市、長崎県医師会、長崎市医師会、
（公財）日本学術協力財団

◆次 第：

14：00～14：10 開会挨拶

小林 良彰（日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授）
片峰 茂（長崎大学長）

14：10～16：55 講 演

「緊急被ばく医療の国際的取り組みと国際原子力機関の
緊急時対応援助ネットワーク」
Eduardo Daniel Herrera Reyes
（IAEA・Incident and Emergency Centre）

「原発事故後の現況と健康への取り組み」
大津留 晶（福島県立医科大学放射線健康管理学講座教授）

「放射線健康リスク科学のこれから」
長崎、チェルノブイリから福島へ」
高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所社会医学部門教授）

「福島の歴史的予見の視点から：日本と自然災害」
Gregory K. Clancey（シンガポール大学准教授）

16 : 55~17 : 00 閉会挨拶

箱田 裕司 (日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事)
永山 雄二 (長崎大学原爆後障害医療研究所長)

- 参加費無料、どなたでも参加いただけます。参加事前申込をお願いします。
- 詳細はこちら
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/177-s-1129.pdf>
- ご来場にあたっては公共交通機関をご利用願います。
<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/sakamoto1/index.html>
- 参加申込方法
11月29日講演会希望と1.名前、2.連絡先(電話又はメール)を明記の上、下記問合せ先まで、メール又は電話にてお申し込みください。
- お問合せ先：長崎大学研究国際部研究企画課
Tel : 095-819-2039 E-mail : gakusai@ml.nagasaki-u.ac.jp

日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」の開催について (ご案内)

- 1 主催：日本学術会議
 - 2 開催日時：平成25年11月29日(金) 10:00~17:20
 - 3 開催場所：日本学術会議講堂
 - 4 趣旨
東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けてどのような方法があるのか、今まで各学会が取り組んできた事例を紹介しながら討議等を行う。
 - 5 次第 (予定)
 - 10:00-10:05 閉会挨拶 渡部終五 (日本学術会議第二部会員、北里大学海洋生命科学部教授)
 - 10:05-10:15 水産・海洋科学研究連絡協議会について
竹内俊郎 (日本学術会議連携会員、東京海洋大学海洋科学系教授)
 - 10:15-10:35 第21期提言「東日本大震災からの新時代の水産業の復興へ」の見直しについて
八木信行 (日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院 学生命科学研究科教授)
- 報告 (第1グループ)
- 座長：大竹臣哉 (福井県立大学海洋生物資源学部教授、日本水産工学会会長)
- 10:35-11:00 黒倉 壽 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授、日本水産学会会員)
「震災後の沿岸漁業の現状と日本水産学会の対応」
 - 11:00-11:25 後藤友明 (岩手県水産技術センター上席専門研究員、水産海洋学会会員)
「東日本大震災に関する水産海洋学会の取り組みと今後の課題」
 - 11:25-11:50 尾定 誠 (東北大学大学院農学研究科教授、日本水産増殖学会会員)
「東北沿岸の水産増養殖の復興に向けた取り組みとこれから」
 - 11:50-12:15 神田穰太 (東京海洋大学大学院海洋科学系教授、日本海洋学会会員)
「福島第一原子力発電所事故に伴う沿岸環境汚染」
 - 12:15-13:15 昼食等
- 報告 (第2グループ)
- 座長：田中次郎 (東京海洋大学大学院海洋科学系教授、日本藻類学会会長)
- 13:15-13:40 加戸隆介 (北里大学海洋生命科学部教授、日本付着生物学会会員)
「東日本大震災が潮間帯生物の多様性に与えた影響とその評価」
 - 13:40-14:05 大越健嗣 (東邦大学理学部教授、日本ベントス学会会員)

- 「数100年おきに繰り返す大津波と地盤沈下
—干潟の生物はどうなったのか?」
- 14:05—14:30 小松輝久 (東京大学大気海洋研究所教授、日仏海洋学会会員)
「日仏海洋学会・日海洋学会による震災からの
カキ養殖復興に向けた取り組み」
- 14:30—14:55 良永知義 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授、
日本魚病学会会員)
「貝類養殖の復興のための疾病侵入防止の取り組みと
今後へ向けた提言」
- 14:55—15:10 休憩
- 報告 (第3グループ)
- 座長: 末永芳美 (東京海洋大学大学院海洋科学系教授、漁業経済学会会員)
- 15:10—15:35 林紀代美 (金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授、
地域漁業学会会員)
「『減災』からみつめる漁業地域—今後の災害に備えるために—」
- 15:35—16:00 有路昌彦 (近畿大学農学部教授、国際漁業学会会員)
「水産流通加工業が被災地の漁業復興に果たす役割」
- 16:00—16:25 松浦啓一 (日本学術会議特任連携会員、日本魚類学会会員)
「魚類標本のレスキュー活動から得た教訓と自然史標本の
管理・活用の改善を目指して」
- 16:25—16:30 休憩
- 16:30—17:15 総合討論 司会 青木一郎 (日本学術会議連携会員、
東京大学名誉教授)
- 17:15—17:20 閉会挨拶 帰山雅秀 (日本学術会議連携会員、
北海道大学国際本部特任教授)

- 参加費: 無料
- 申し込み: 不要、当日先着順
- 問い合わせ先
日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555東京都港区六本木7-22-34
電話: 03-3403-6295/FAX: 03-3403-1260

添付ファイル付メールの自動暗号化について

内閣府の情報セキュリティ強化の方針に基づき、本年10月17日以降当事務局から送信する添付ファイル付メールについては、添付ファイルが自動暗号化される場合があります。メールに添付されているファイルを開く際、パスワード入力画面が表示される場合は、並行して届くメールに記載されているパスワードをご入力ください。

既に添付ファイルを開けない旨ご連絡をいただいた会員、連携会員の皆様につきましては、余計なご負担をかけないよう、事務局内で個別に自動暗号化を解除する方法で送信するよう周知しております。場合によっては、手違いにより自動暗号化された添付ファイル付メールが送られる恐れがあります。その際は、大変お手数ではございますが、事務局までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

(ご連絡・お問い合わせ先)
日本学術会議事務局企画課情報係
E-mail: p228@scj.go.jp 電話: 03-3403-6295

★-----★
日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

★-----★

學術情報誌『學術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34